

畑野町の人口（9月1日調べ）

人口 1859人 男 931人
女 928人

世帯数 968世帯

はたの

令和2年10月15日発行
第534号 / 畑野町自治会



TEL/FAX (0771) 28-2752

Email: jichi-hatano@nike.eonet.ne.jp

http://www.hatano.kameoka-city.org/

「赤い羽根共同募金運動」が始まります

十月一日から全国一斉に赤い羽根共同募金が始まっています。共同募金は、戦後間もない昭和22年に、市民が主体の民間運動として始まりました。当初は戦後復興の一助として被災した福祉施設を中心に支援が行われ、その後法律（現在の「社会福祉法」）に基づき、社会福祉の推進のために活用されてきました。



社会が変化する中、共同募金は誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざまな地域福祉の課題解決に取り組み民間団体を応援する、「自分のまちをよくする仕組み」として取り組まれています。

亀岡市では、昨年実績で七、二〇八千円の募金をいただき、高齢者サロンなどの活動支援のほか障がい児者交流などの福祉活動、子育てサロンや子ども会活動の支援、福祉施設整備や福祉団体の活動支援、災害準備費などに活用されています。

特に今年は、新型コロナウイルス感染症への対応が長期化し、経済的な困難から衣食住が十分に確保できない人、居場所を失い孤立を深めている人、或いはしゃべる相手がなく生活のハリをなくしている人など、さまざまな人がさまざまなかたちで困っています。そのような人たちが失いかけている「つながり」を取り戻し、日々の生活を支える活動が全国各地で継続的に展開されるよう『つながりを絶やさない社会づくり』あなた一人じゃない、支える人を支えよう！』を共通テーマにして、『赤い羽根 新型コロナウイルス感染症下の福祉活動全国キャンペーン』として募金活動が実施されています。

畑野町自治会もこの趣旨に賛同して、募金活動に取り組みます。各区長・組長さまを通じてお願いに伺いますので、ご理解・ご協力をお願いいたします。

「秋の火災予防運動」が実施されます

『その火事を防ごうあなたに金メダル』をスロガンに、秋の火災予防運動が十一月九日から始まります。この運動は、火災が発生しやすい時季を迎えるにあたり、火災予防思想の一層の普及と火災の発生防止、高齢者を中心とする死者の発生を減少させるとともに、財産の損失を防ぐことを目的に全国で実施されます。

消防団畑野分団の皆さんも、この時期にあわせて非常招集・消火訓練の実施や、広報活動で火災予防を呼び掛けていただきます。

町民の皆さんもこの運動をご理解いただき「ご家庭での火の用心」と「我が身の火の用心」をお願いいたします。

初期消火訓練を実施します

今年の畑野町自主防災会事業として計画していましたが、初期消火訓練を実施します。

火災が発生したとき、消防車が来るまでにいち早く早く対応することが大火を防ぐ、決め手となります。ご近所の皆さんの力を合わせて、いのち・財産を守る初期消火訓練に多数の参加をお願いします。

また、自宅付近の消火栓や消防ホース格納箱の位置や取り扱い方を確認して万一来ておきましょう。

日時 十一月八日（日）午前九時三十分～

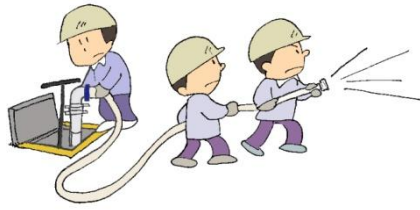
場所 高橋二区（八期）上部の公園付近

（高橋バス停を上がっていった団地）

※駐車場が少ないので出来るだけ乗り合わせをお願いします

内容 消防団から初期消火の指導をお願いします

- ① 消火器を使つての初期消火訓練
- ② 消火栓からホースをつないだ放水訓練



「みんなの畑野自慢」を募集（再掲）

皆さんが感じられている畑野町のいいところ、誇れると思われる写真を募集しています。

自然や風景、生活、文化、行催事など、「畑野のここが好き」「あそこはぜひ紹介したい」「こんな特技を持った方いる」など皆さまのとおつておきの「畑野自慢」をお寄せください。

皆さんが日常生活や風景、体験などの中で感じた「畑野の魅力」が伝わる写真をメッセージとともに、自治会事務所までお寄せください。また、思い出に残る懐かしい風景や生活の写真もお願いします。

お寄せいただいた写真は、畑野町の明るい話題として公民館に掲出させていただきます。この紙面やホームページで町内外に広く紹介していくこととします。



（西山に浮かぶ積乱雲）



（ふれあいセンターのしだれ桜）

「フェスティバルin畑野」を中止します

毎年十一月に開催していましたが「フェスティバルin畑野」と「農業祭」を、今年は新型コロナウイルス感染症予防のため開催中止とします。

いろんな活動が自粛となってステイ・ホームの日が続いています。どうぞ体調管理にご留意いただき、この窮地を乗り越えていきましょう。また、インフルエンザの流行期に入ります。

早めに予防接種を受けておくなど、風邪予防にも万全な対策をお願いします。